

平成23年度

十勝シーニックバイウエイ

## 南十勝夢街道活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道		報告者:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 加藤 修治					2012/3/31	
ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光 ・地域の観光資源を発見し有効活用する ・人が集まる地域になるための情報発信 ・訪問者に満足してもらうための情報共有 ・「見る・遊ぶ・食べるの充実」	フォトコンテスト	1	南十勝夢街道フォトコンテスト フォトコンテストカレンダー販売 写真展(大樹、忠類、中札内、帯 広市内、帯広空港)	南十勝夢街道	募集:平成23年7月15日 ～平成23年9月30日 カレンダー販売:平成23 年11月～平成24年1月	主催:10名 フォトコン 募188点 カレンダー 1500部作成	A — 3	今年も多数の作品応募があった。フォトコンの審 査会を早めたことで例年よりも早いカレンダー販売 となった。今年も札幌およびウェブサイトで(委託) での販売を開始した。今後も継続して実施したい。
	イルミネーション	2	あかりシーニックバイウェイ	シーニックバイウェイ あかり実行委員会	平成23年11月～ 平成24年3月	主催:3名	—	シーニックバイウェイで冬のあかり事業を実施して いるルートで連携PRを行なった。今後も連携を 深めていきたい。
	観光資源発掘	3	学校シーニックバイウェイ	南十勝夢街道	授業:平成23年10月27日 (忠類) 南十勝小学校アンケート: 11月実施	主催:3名 町村連絡校 小学校6年生	A — 1	忠類小学校のこどもに自分たちの地域のいいところ を挙げてもらう授業を実施するとともに、ルート 内の各市町村の小学校に地域の魅力に関するア ンケートを実施し、マップにまとめた。
	モデルルート作成	4	モニターツアー	南十勝夢街道	平成23年12月10日～11 日	主催:5名 親子11組	A — 2	学校シーニックバイウェイの実施により、こども達 から出た地域のおすすめ情報をもとに、道央圏の 親子を対象としたバスツアーを企画した。キャン デル作りや搾乳体験等の体験をメインとした内容は 大変好評であったが、今後は価格設定が課題で ある。
	広報・PR活動	5	十勝港大型客船寄港PR活動	南十勝夢街道	平成23年6月17日	主催:30名 程度 客船乗客: 約440人	—	ビーナスクルーズのクルーズ客船「ばしふいっく・ びいなす」が十勝港に寄港した際に、乗客に十勝 の魅力を発信するためのPRブースと特産品ブー スを設け、積極的にPRした。
景観 ・地域の顔としての美しい沿道景観創り ・地域の思いを反映した景観づくりのためのルー ル設定 ・訪問者に満足してもらうための情報共有	花壇整備プロジェクト	6						
	清掃活動	7						
	景観改善	8						
	景観ポイント	9	十勝シーニックバイウェイ連携事 業:イエローポンプロジェクト	とちろイエローポン プロジェクト実行委員会	平成23年6月～11月	主催:20人 程度 一般:100人 程度	—	低炭素社会の推進、地域への取り組みの周知、 観光振興事業として、引き続き取り組みを進めて いく。
地域づくり ・地域を盛り上げるイベントに取り組む ・地域の活動を活かし、より大きな活動につなげ る ・連携の輪を広げ、活動を大きく育てる	シーニックカフェ	10	シーニックカフェ	南十勝夢街道 (忠類地域部会) (広尾地域部会)	忠類:平成23年7月～9月 広尾:平成23年4月～12月	主催者:5名 程度 来場者 (忠類)2356人	—	今年も多くの方に来ていただき、忠類でのコン サートも大変好評だった。今後も継続して続けたい いく。
	勉強会・研修会	11	釧路視察(研修会)	十勝シーニックバイウェイ	平成23年8月30日～31 日	35人参加 (釧路ルート 含む)	—	他ルートの活動を視察することで、ルート間の交 流が生まれている。今後はシーニックカフェの連携 など、具体的に取り組んでいきたい。
	情報共有・情報発信	12	十勝シーニックバイウェイ連携 フォーラム	南十勝夢街道	平成23年10月2日	主催:40人 程度 一般:100人 以上	—	一般の地域住民への周知・交流を目的に、初めて 野外(道の駅)でフォーラムを開催。各町村の物産 販売も実施した。
	地域連携	13	「シーニックカフェ」×「道の駅」× 「とちろ帯広空港」連携スタンプ ラリー	十勝シーニックバイウェイ	平成23年7月15日～ 平成23年9月30日	主催:15人 程度 一般:応募 54人、完走 16人	—	昨年度まで実施していたシーニックカフェスタンプ ラリーに加え、新たに道の駅とちろ帯広空港と 連携した。
	地域連携	14	十勝開拓の歴史「晩成社」を活用 した歴史ツーリズムによる地域活 性化	南十勝夢街道	平成23年6月～	主催:20人	—	依田勉三を通じ、静岡の日本風景街道ルート「な ごみの伊豆 なごみの道」との交流が始まった。今 後も交流を深めていきたいと考えている。

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway / Minamitokachi yumekaidou

活動名：学校シーニックバイウェイ

## 【概要】

学校シーニックバイウェイは、子供達の地域を愛する気持ち、訪れる人を思う気持ちを育むため、子供目線による地域の魅力を地域内外へ積極的に発信することを目的として、平成22年に、幕別町立忠類小学校5年生を対象に開始した。

今年度は、忠類小学校の6年生を対象とした授業を実施するとともに、ルート内町村の主要な小学校6校に、地域の魅力に関するアンケートを実施し、子供たちのアンケート結果から“こどもたんけん夢マップ”を作成した。

【日時】平成22年12月15日（水）～ 継続実施中

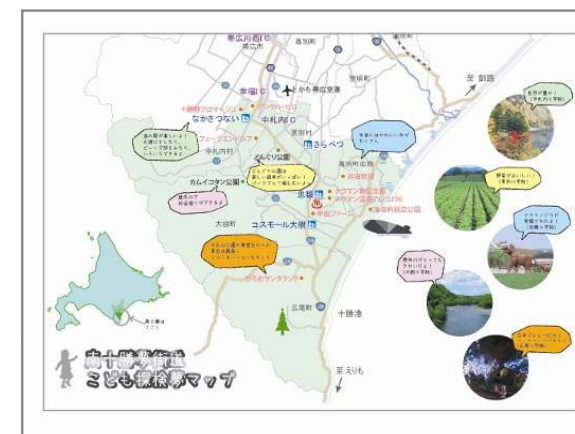
【場所】授業：幕別町立忠類小学校、アンケート：各町村主要小学校6校

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】小学校6校 主催側：3名



学校シーニックバイウェイ授業の様子



南十勝夢街道こどもたんけん  
夢マップ（案）

# 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

TOKACHI Scenic Byway / Minamitokachi yumekaidou

活動名：モニターツアー

## 【概要】

学校シーニックバイウェイの取り組みにより子ども達から出たおすすめ箇所をめぐる、道央圏の親子を対象としたモニターツアー『親子で行く南十勝のクリスマス』を実施した。

半田ファームのラクレットランチ、大樹町多目的航空公園の見学、サンタランドでのキャンドル作り、ホテルでの地元の子供たちのロビーコンサート、星空観察、搾乳体験、パンのおうち作りなど、都会では体験できないことをたくさん盛り込んだツアーで、参加者からは“楽しかった”との声が多く聞かれた。

今後は、ツアー価格など課題について検討し、定期的にツアーを行えるようにしたい。

【日時】平成23年12月10日（土）～11日（日）

【場所】南十勝夢街道内各施設

【主催】十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】一般参加：親子11組 26名 主催側：5名



ツアーチラシ



半田ファームでの  
ランチ



多目的航空宇宙公園の  
見学



アルコ236での子供たち  
のロビーコンサート



搾乳体験  
(子牛への授乳)



## 活動名：フォトコンテスト

## 【概要】

フォトコンテストの開催およびコンテスト入選作品から作成するフォトコンテストカレンダーの作成・販売は候補ルート時から継続して実施している活動である。

フォトコンテストは、地域の魅力を発信しエリアに訪問して頂く機会を作るため、H18年より実施しており、毎年多くの応募作品がある。また、コンテストを実施するだけではなく、入賞作品をメインにカレンダーを制作し販売している。今年は初めて札幌の協力店やウェブサイトでカレンダー販売を行った。応募作品の著作権はルートに帰属させて戴き、ルートの広報PR等に役立てている。この活動は、本ルートの景観の素晴らしさを多くの方に知ってもらえる活動として継続実施していく。

【日時】 作品募集：平成23年7月15日～9月30日

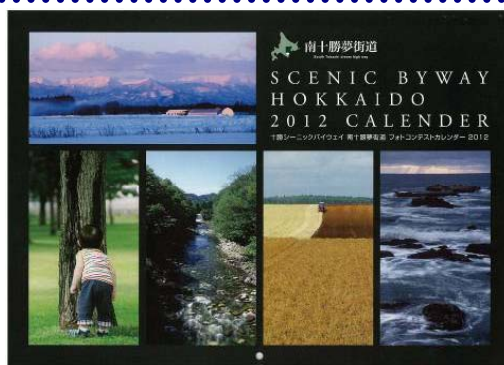
カレンダー販売：平成23年11月～平成24年1月

【場所】 撮影：南十勝夢街道エリア

販売：南十勝夢街道内商工会ほか、札幌の協力店、ウェブサイト

【主催】 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

【参加人数】 主催側10名、一般参加：フォトコン応募：188点



2012年カレンダー



H23年グランプリ作品

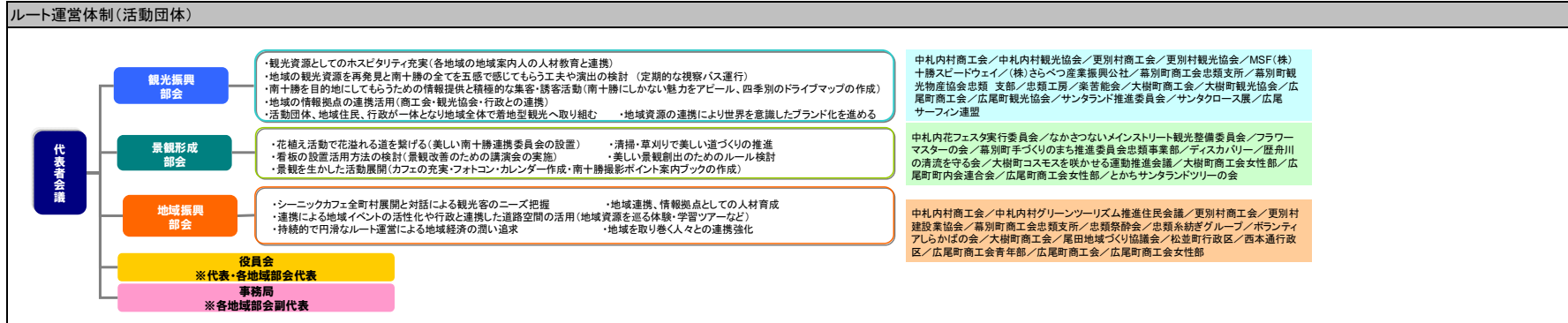
「朝陽」(広尾町)

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 代表 加藤修治	報告年月:2012/3/31
---------------------------	---------------------------------	----------------

**活動団体**

中札内村商工会、中札内村観光協会、中札内花フェスタ実行委員会、なかさつないメインストリート環境整備委員会、中札内村グリーンツーリズム推進住民会議、更別村商工会、更別村観光協会、MSF(株)十勝スピードウェイ、(株)さらべつ産業振興公社、更別村建設業協会、幕別町商工会忠類支部、幕別町観光物産協会忠類支部、忠類工房、楽苦能会、フラワーマスターの会、幕別町手づくりのまち推進委員会忠類事業部、ディスカバリー、忠類祭酔会、忠類系紡ぎグループ、ボランティアしらかばの会、大樹町商工会、大樹町観光協会、歴舟川の清流を守る会、大樹町コスモスを咲かせる運動推進会議、尾田地域づくり協議会、松並町行政区、西本通行政区、大樹町商工会女性部、広尾町商工会、広尾町観光協会、広尾町商工会女性部、広尾町商工会青年部、広尾町町内会連合会、サンタランド推進委員会、サンタクロス展、サーフィン連盟、とからサンタランドツリーの会



基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
ルート運営代表者会議			●6/2 代表者会議										
十勝シーニックバイウェイ連携代表者会議	●4/13	●5/10(代表のみ)	●6/20		●8/4			●11/7	●12/15			●3/12(代表のみ)	
事務局・幹事会 打合せ		●5/18 幹事会	●6/2 監査会		●8/2 幹事会	●9/2 幹事会	●10/14 観光振興委員会						

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2012/3/31
---------------------------	-------------	----------------

基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政連絡会議の実施						●9/8				●1/30			

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2012/3/31
---------------------------	-------------	----------------

ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No	
観光	・地域の観光資源を発見し有効活用する ・人が集まる地域になるための情報発信 ・訪問者に満足してもらうための情報共有 ・「見る・遊ぶ・食べるの充実」	十勝シーニックバイウェイ共通案内標識の検討・設置	平成22年12月～実施中	自治体 帯広開発建設部	道路利用者への案内機能の向上を目的に、十勝シーニックバイウェイと自治体、帯広開発建設部が共通の案内標識に向け、設置箇所やデザインの検討を行った。この結果をもとに、各道路管理者が分担して案内標識を設置した。今後は、追加設置箇所の検討と設置に向けた取り組みを行う。	行政機関がSBWと連携して、効果をあげる取り組みが増えている。このため、今後もSBWとの連携を強化し、広域での取り組みを進めていくことが必要である。	1
	道の駅との連携	平成23年7月～実施中	道の駅 自治体 帯広開発建設部	道の駅との連携強化を図るため各道の駅に帯広開発建設部が主体となって、「十勝よりみちインフォメーションボード」を設置し、地域おすすめ情報をタイムリーに発信した。今後は、近隣地域の情報把握も行き、利用者ニーズに応じ提供情報を複数用意できるよう進めていきたい。	2		
景観	・地域の顔としての美しい沿道景観創り ・地域の思いを反映した景観づくりのためのルール設定 ・訪問者に満足してもらうための情報共有	とかちイエローリボンプロジェクト	平成23年6月～11月	自治体 商工会 帯広開発建設部	各自治体、商工会、帯広開発建設部で、ひまわり植栽に向けて実施箇所検討及び種植え・刈り取り・種回収等に積極的に参加した。開花時期には旅行者が写真撮影を行う風景が見られ、地域の景観向上に効果があがっている。今後は、実施箇所の更なる拡大と、子どもの参加者が増加するよう検討を行うことが必要である。		3
地域づくり	・地域を盛り上げるイベントに取り組む ・地域の活動を活かし、より大きな活動につなげる ・連携の輪を広げ、活動を大きく育てる	学校シーニックバイウェイ	授業:平成23年10月27日(忠類) 南十勝小学校アンケート:11月実施	自治体 商工会 帯広開発建設部	自治体、商工会、帯広開発建設部で学校シーニックバイウェイを実施した。地域の新たな観光資源の発掘や、マップの作成といった効果のほか、授業を通し子どもにシーニックバイウェイの思想を伝えることで、地域づくりに子どもを取り込む効果も期待できるため、今後も継続実施が望まれる。		4
		「十勝シーニックバイウェイ実務者のためのQ&A集」作成	平成23年11月	行政連絡会議 各団体	帯広開発建設部が主体となって、十勝シーニックバイウェイ参加団体の実務担当者に向け、SBWとは何か、SBWの活動内容・効果等をわかりやすく説明するQ&A集を作成した。今後は、特にSBWへの参加効果充実に向け、各機関で把握している効果の集約を行いたい。		5
		十勝シーニックバイウェイ連携フォーラム	平成23年10月2日	自治体 商工会 帯広開発建設部	十勝シーニックバイウェイ3ルートが主体となり、自治体や商工会、帯広開発建設部とともに連携強化に向けたフォーラムを実施した。今年は、道の駅なかさつないを会場とし、帯広開発建設部と十勝SBWとで道の駅と調整を行いながら、十勝の食についての基調講演、地域の特産品を持ち寄った交流会等を行った。一般向けの内容とし道の駅で開催したため、一般者の参加もありSBWの活動をPRすることができた。今後は、さらに一般者の参加増加に向け会場や開催日時の検討を行っていきたい。		6

5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道	報告者:十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道 代表 加藤 修治	報告年月:2012/3/31
---------------------------	----------------------------------	----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれた。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p><b>●情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透</b>            ・毎年発行している「南十勝夢街道フォトコンテストカレンダー」の札幌での販売を開始し、PRに努めた。            ・十勝シーニックバイウェイ連携フォーラムを道の駅なかさつないの野外で行い、関係者だけでなく、一般の方々にもシーニックを知ってもらい、楽しんでもらえるよう工夫した。</p> <p><b>●地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化</b>            ・昨年に引き続き、学校シーニックバイウェイを実施し、ルート内の子どもたちに地域の魅力を再発見してもらうとともに、子どもたちにシーニックバイウェイを知ってもらうことで、地域の人材育成を行っている。また、子ども達おすめ情報をもとにモニターツアーを実施し、道央圏の親子11組が参加した。            ・モニターツアーの内容は大変好評で再度南十勝地域を訪れたいとの声が多くあり、これまで南十勝に来たことのない道央圏の方々に南十勝の素晴らしさを知ってもらうことが出来た。今後はこのようなツアーを定期的に行えるように検討したい。</p> <p><b>●ルート間連携によるシーニックバイウェイ北海道の活性化</b>            シーニックバイウェイで冬のあかり事業を実施しているルート間で連携し、「シーニックバイウェイあかり実行委員会」を立ち上げ、札幌の地下歩行空間でシーニックバイウェイやイベントのPRを行った。今後は他ルートのイベントの視察など、さまざまな連携を行なっていきたいと考えている。</p>	

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプ子雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2012/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
<p>シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれた。</p> <p>特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。</p>	<p><b>●情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透</b>            活動6年目となるフォトコンテストには毎年多くの応募があり、南十勝夢街道を代表する取り組みといえる。今年は入賞作を使用したカレンダーの販売時期を早め、新たに札幌やWebでの販売を開始するなど、情報発信を強化した。            また、十勝シーニックバイウェイ連携フォーラムを担当し、一般参加者の増加に向け多くの人を訪れる道の駅なかさつないを会場に、食をメインとした講演や十勝管内の食を集めた交流会を実施した。</p> <p><b>●地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化</b>            学校シーニックバイウェイは、ルート活動に子どもという新たな視点を入れる取り組みとして、今後他ルートの参考となる物と考えられ、今後の発展が期待される。</p> <p><b>●ルート間連携によるシーニックバイウェイ北海道の活性化</b>            ルート間連携では、十勝シーニックバイウェイ3ルートでの連携活動継続のほか、新たにシーニックバイウェイあかり事業での連携を開始しイベントPRを行う等、ルート間連携で新たな取り組みが見られた。</p>	